

授 業 科 目 名	道徳教育 I (Moral Education I)		
科 目 番 号	9301001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	月曜・6 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	吉田 武男		
オ フ ィ ス ア ワ ー	月 (18:00~19:00) 教職サポートルーム(グローバル教師力開発推進室)		
授 業 の 到 達 目 標	<p>1) 道徳の本質(道徳とは何か)を説明できる。</p> <p>2) 道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ・情報モラル等)を理解している。</p> <p>3) 子供の心の成長と道徳性の発達について理解している。</p> <p>4) 学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解している。</p>		
授 業 の 概 要	<p>道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、道徳教育の歴史的変遷をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回: ガイダンスと授業への導入</p> <p>第2回: 道徳の本質—道徳教育とは何か—</p> <p>第3回: 明治時代以前と明治時代前期の道徳教育</p> <p>第4回: 明治時代後期の道徳教育</p> <p>第5回: 大正時代と昭和時代初期の道徳教育</p> <p>第6回: 道徳の空白時代と全面主義道徳教育</p> <p>第7回: 特設道徳の誕生と変遷</p> <p>第8回: 特設道徳から道徳科へ</p> <p>第9回: 道徳科の課題と展望</p> <p>第10回: 授業の総括</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>授業への参加態度や試験の成績などから総合的に判断する。詳細はガイダンス時に説明する。</p>		
テ キ ス ト	<p>テキストは特になし(資料を配布する)</p>		
参 考 文 献	<p>文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版)</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版)</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考			

授 業 科 目 名	道徳教育Ⅱ(Moral EducationⅡ)		
科 目 番 号	9301011	授 業 形 態	講義
単 位 数	1単位	標 準 履 修 年 次	2年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	月曜・6時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	吉田 武男		
オ フ ィ ス ア ワ ー	月(18:00～19:00) 教職サポートルーム(グローバル教師力開発推進室)		
授 業 の 到 達 目 標	<p>1) 学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。</p> <p>2) 道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解している。</p> <p>3) 道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用することができる。</p> <p>4) 授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。</p> <p>5) 道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解している。</p> <p>6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</p>		
授 業 の 概 要	<p>道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回:ガイダンスと授業への導入</p> <p>第2回:世界の道徳教育を知る</p> <p>第3回:道徳教育の諸理論(ピアジェなど)を考える</p> <p>第4回:道徳教育の諸理論(コールバーグなど)を考える</p> <p>第5回:現在の道徳教育の基準(学習指導案を含む)を考える</p> <p>第6回:現在の道徳教育の現状と課題を考える</p> <p>第7回:道徳教育の改善(人権教育などを含む)を考える</p> <p>第8回:道徳教育の改善(情報モラルと環境モラルなどを含む)を考える</p> <p>第9回:道徳科の改善と評価を考える</p> <p>第10回:授業の補足と整理</p> <p>課題提出(第10回目のときに示します)</p> <p>※manaba において資料・動画等および課題を提示します。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>manaba に提出された課題で出欠を確認します。</p> <p>manaba に提出された課題を総合的に評価します。</p>		
テ キ ス ト	テキストは特になし(資料を提示する)		
参 考 文 献	<p>文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版)</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版)</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	原則として、毎回、事前に予習の箇所を知らせますので、必ずその箇所を読んだうえで受講してください。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	毎回出される課題を、期限内に必ず提出してください。		
備 考			

授 業 科 目 名	道徳教育 I (Moral Education I)		
科 目 番 号	9302001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	水曜・3 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	桑原 直巳		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	1) 道徳教育の歴史および現代社会における道徳教育の現状を理解する。 2) 学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解する。 3) 道徳教育に関連する重要概念について自ら探求する心構えと能力をもつ。		
授 業 の 概 要	道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の現状を把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、特に道徳教育に関連する重要概念について自ら探求し、今後求められる指導の在り方についても考える。		
授 業 計 画	第1回:ガイダンスと授業への導入 第2回:道徳教育の歴史 I :第二次世界大戦前 第3回:道徳教育の歴史 II :第二次世界大戦後 第4回:現代日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標 第5回:現代日本の学校における道徳教育及び道徳科の内容 第6回:現代日本の学校における道徳教育及び道徳科の指導計画 第7回:現代日本の学校における道徳教育及び道徳科における評価 第8回:道徳教育及び道徳科に求められる指導法—学習指導要領改訂の要点— 第9回:道徳教育及び道徳科に求められる指導法—実践に向けて 第10回:授業の総括 定期試験		
成 績 評 価 方 法	授業への参加態度や試験の成績などから総合的に判断する。詳細はガイダンス時に説明する。		
テ キ ス ト	文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版) 文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版)		
参 考 文 献	適宜、指示する。		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考			

実施方法：オンライン（オンデマンド型）

授 業 科 目 名	道徳教育Ⅱ(Moral EducationⅡ)		
科 目 番 号	9302011	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単 位	標 準 履 修 年 次	2 年 次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	水曜・3 時 限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	桑原 直巳		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	<p>1) 学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性を理解する。</p> <p>2) 道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解する。</p> <p>3) 道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用することができる。</p> <p>4) 授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。</p> <p>6) 指導案の振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</p>		
授 業 の 概 要	道徳教育および道徳科の実践力の形成をめざす。8名一組のグループを作り、一人が授業者の立場から指導案を作成し、他の者は模擬生徒となって模擬授業を行う。各模擬授業の後に指導案の振り返りおよび改善に向けた意見交換を行う。		
授 業 計 画	<p>※対面ではなくオンデマンド。各回の計画もオンデマンド化によって変更する可能性があるため、必ず初回のガイダンスで改めて確認すること。</p> <p>第1回:ガイダンスと授業への導入</p> <p>第2回:道徳教育及び道徳科における指導方法について</p> <p>第3回:WEB上で公開されている参考授業を参観しグループでの意見交換(その1)</p> <p>第4回:WEB上で公開されている参考授業を参観しグループでの意見交換(その2)</p> <p>第5回:WEB上で公開されている参考授業を参観しグループでの意見交換(その3)</p> <p>第6回:指導案作成(その1)および振り返りと改善に向けた意見交換</p> <p>第7回:指導案作成(その2)および振り返りと改善に向けた意見交換</p> <p>第8回:指導案作成(その3)および振り返りと改善に向けた意見交換</p> <p>第9回:指導案作成(その4)および振り返りと改善に向けた意見交換</p> <p>第10回:総括</p>		
成 績 評 価 方 法	授業への参加態度や課題の提出状況などから総合的に判断する。詳細はガイダンス時に説明する。		
テ キ ス ト	文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版)		
参 考 文 献	適宜、指示する。		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と	授業への参加態度や課題の提出状況などから総合的に判断する。詳細はガイダンス時に説明する。		
備 考			

授 業 科 目 名	道徳教育Ⅰ (Moral Education Ⅰ)		
科 目 番 号	9303001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	夏季休業中	曜 時 限	集中(9/23、9/24)
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	田中 マリア		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	<p>1) 道徳の本質(道徳とは何か)を説明できる。</p> <p>2) 道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ・情報モラル等)を理解している。</p> <p>3) 子供の心の成長と道徳性の発達について理解している。</p> <p>4) 学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解している。</p>		
授 業 の 概 要	<p>道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回: ガイダンスと授業への導入</p> <p>第2回: 道徳の本質—道徳とは何か—</p> <p>第3回: 現代日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標と内容—学習指導要領改訂の要点—</p> <p>第4回: 現代社会における道徳教育の課題—国内(いじめ・情報モラル・市民性等)—</p> <p>第5回: 現代社会における道徳教育の課題—国外(共生・環境・人権等)—</p> <p>第6回: 道徳教育の歴史Ⅰ: 第二次世界大戦前の道徳教育</p> <p>第7回: 道徳教育の歴史Ⅱ: 第二次世界大戦後の道徳教育</p> <p>第8回: 子供の心の成長と道徳性の発達への視座</p> <p>第9回: 今後、道徳教育及び道徳科に求められる指導法—学習指導要領改訂の要点—</p> <p>第10回: 授業の総括</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>授業への参加態度や試験の成績などから総合的に判断する。詳細はガイダンス時に説明する。</p>		
テ キ ス ト	<p>田中マリア編『MINERVA(はじめて学ぶ教職)道徳教育』ミネルヴァ書房 2018 年</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版)</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版)</p>		
参 考 文 献			
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考			

授 業 科 目 名	道徳教育Ⅱ(Moral EducationⅡ)		
科 目 番 号	9303011	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単 位	標 準 履 修 年 次	2 年 次
実 施 学 期	春季休業中	曜 時 限	集中(2/17、2/18)
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	田中 マリア		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	<p>1) 学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。</p> <p>2) 道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解している。</p> <p>3) 道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用することができる。</p> <p>4) 授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。</p> <p>5) 道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解している。</p> <p>6) 指導案の振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</p>		
授 業 の 概 要	<p>道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。</p>		
授 業 計 画	<p>※対面ではなくオンデマンド。評価に関わるため履修登録期限の翌日には必ず manaba 上で詳細を確認すること。確認が遅れたことによる不利益は責任を負いかねるので十分注意すること。</p> <p>※以下、オンデマンド化によって変更する可能性があるため、必ず初回のガイダンスで改めて確認すること。</p> <p>第1回:ガイダンスと授業への導入</p> <p>第2回:道徳教育及び道徳科における指導計画作成の要点</p> <p>第3回:道徳科の特質を生かした多様な指導方法</p> <p>第4回:道徳科における教材の特徴と授業への活かし方</p> <p>第5回:道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方</p> <p>第6回:道徳科における学習指導案の作成(1)</p> <p>第7回:道徳科における学習指導案の作成(2)</p> <p>第8回:指導案の振り返りと改善に向けた意見交換(1)</p> <p>第9回:指導案の振り返りと改善に向けた意見交換(2)</p> <p>第10回:総括</p>		
成 績 評 価 方 法	毎回の課題の取組状況と、最終回で提出される道徳科の学習指導案の成果によって行う。		
テ キ ス ト	<p>吉田誠(著)、木原一彰(著)『道徳科初めての授業づくり-ねらいの8類型による分析と探究』大学教育出版2018年。</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』(最新版)</p>		
参 考 文 献			
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			

受講学生に望むこと	
備考	対面でなくオンデマンドで行う。評価に関わるため履修登録期限の翌日には必ず、manaba 上で詳細を確認すること。確認が遅れたことによる不利益は責任を負いかねるので十分注意すること。

授 業 科 目 名	道徳教育 I (Moral Education I)		
科 目 番 号	9305001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	木曜・3 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾奇数)		
担当教員(連絡先)	田中 マリア		
オフィスアワー			
授 業 の 到 達 目 標	<p>1) 道徳の本質(道徳とは何か)を説明できる。</p> <p>2) 道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ・情報モラル等)を理解している。</p> <p>3) 子供の心の成長と道徳性の発達について理解している。</p> <p>4) 学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解している。</p>		
授 業 の 概 要	<p>道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回:ガイダンスと授業への導入</p> <p>第2回:道徳の本質—道徳とは何か—</p> <p>第3回:現代日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標と内容—学習指導要領改訂の要点—</p> <p>第4回:現代社会における道徳教育の課題—国内(いじめ・情報モラル・市民性等)—</p> <p>第5回:現代社会における道徳教育の課題—国外(共生・環境・人権等)—</p> <p>第6回:道徳教育の歴史Ⅰ:第二次世界大戦前の道徳教育</p> <p>第7回:道徳教育の歴史Ⅱ:第二次世界大戦後の道徳教育</p> <p>第8回:子供の心の成長と道徳性の発達への視座</p> <p>第9回:今後、道徳教育及び道徳科に求められる指導法—学習指導要領改訂の要点—</p> <p>第10回:授業の総括</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>授業への参加態度や試験の成績などから総合的に判断する。詳細はガイダンス時に説明する。</p>		
テ キ ス ト	<p>田中マリア編『MINERVA(はじめて学ぶ教職)道徳教育』ミネルヴァ書房 2018 年</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版)</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(平成 29 年版)(最新版)</p>		
参 考 文 献	<p>適宜、指示する。</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考			

授 業 科 目 名	道徳教育Ⅱ(Moral EducationⅡ)		
科 目 番 号	9305011	授 業 形 態	講義
単 位 数	1単位	標 準 履 修 年 次	2年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	木曜・3時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾奇数)		
担当教員(連絡先)	田中 マリア		
オフィスアワー	事前連絡の上、訪問すること。		
授 業 の 到 達 目 標	<p>1)学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。</p> <p>2)道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解している。</p> <p>3)道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用することができる。</p> <p>4)授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。</p> <p>5)道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解している。</p> <p>6)指導案の振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</p>		
授 業 の 概 要	<p>道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。</p>		
授 業 計 画	<p>※対面ではなくオンデマンド。各回の計画もオンデマンド化によって変更する可能性があるため、必ず初回のガイダンスで改めて確認すること。</p> <p>第1回:ガイダンスと授業への導入</p> <p>第2回:道徳教育及び道徳科における指導計画作成の要点</p> <p>第3回:道徳科の特質を生かした多様な指導方法</p> <p>第4回:道徳科における教材の特徴と授業への活かし方</p> <p>第5回:道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方</p> <p>第6回:道徳科における学習指導案の作成(1)</p> <p>第7回:道徳科における学習指導案の作成(2)</p> <p>第8回:指導案の振り返りと改善に向けた意見交換(1)</p> <p>第9回:指導案の振り返りと改善に向けた意見交換(2)</p> <p>第10回:総括</p>		
成 績 評 価 方 法	毎回の課題の取組状況と、最終回で提出される道徳科の学習指導案の成果によって行う。		
テ キ ス ト	<p>吉田誠(著)、木原一彰(著)『道徳科初めての授業づくり-ねらいの8類型による分析と探究』大学教育出版2018年。</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』(最新版)</p>		
参 考 文 献			
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考	対面ではなくオンデマンドで行う。		

授 業 科 目 名	道徳教育 I (Moral Education I)		
科 目 番 号	9306011	授 業 形 態	講義
単 位 数	1単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	木曜・3 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾偶数)		
担 当 教 員 (連 絡 先)	菊地 かおり(sgtkaori@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	木曜・4 時限(メールで事前に連絡すること)		
授 業 の 到 達 目 標	<p>1) 道徳の本質(道徳とは何か)を説明できる。</p> <p>2) 道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ・情報モラル等)を理解している。</p> <p>3) 子供の心の成長と道徳性の発達について理解している。</p> <p>4) 学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解している。</p>		
授 業 の 概 要	<p>道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回:ガイダンスと授業への導入</p> <p>第2回:道徳の本質—道徳とは何か—</p> <p>第3回:現代日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標と内容—学習指導要領改訂の要点—</p> <p>第4回:現代社会における道徳教育の課題—国内(いじめ・情報モラル・市民性等)—</p> <p>第5回:現代社会における道徳教育の課題—国外(共生・環境・人権等)—</p> <p>第6回:道徳教育の歴史Ⅰ:第二次世界大戦前の道徳教育</p> <p>第7回:道徳教育の歴史Ⅱ:第二次世界大戦後の道徳教育</p> <p>第8回:子供の心の成長と道徳性の発達への視座</p> <p>第9回:今後、道徳教育及び道徳科に求められる指導法—学習指導要領改訂の要点—</p> <p>第10回:授業の総括</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>授業への参加態度や試験の成績などから総合的に判断する。詳細はガイダンス時に説明する。</p>		
テ キ ス ト	<p>田中マリア編『道徳教育(MINERVA はじめて学ぶ教職⑫)』ミネルヴァ書房、2018 年。</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 特別の教科 道徳編』、2018 年。</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 特別の教科 道徳編』、2018 年。</p>		
参 考 文 献	<p>適宜、指示する。</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考			

実施方法：オンライン（オンデマンド型）

授 業 科 目 名	道徳教育Ⅱ(Moral EducationⅡ)		
科 目 番 号	9306031	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	木曜・3 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾偶数)		
担当教員(連絡先)	菊地 かおり(sgtkaori@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	木曜・4 時限(メールで事前に連絡すること)		
授 業 の 到 達 目 標	<p>1) 学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。</p> <p>2) 道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解している。</p> <p>3) 道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用することができる。</p> <p>4) 授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。</p> <p>5) 道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解している。</p> <p>6) 指導案の振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</p>		
授 業 の 概 要	<p>学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性を把握した上で、道徳科の特質を生かした多様な指導方法、教材、学習評価の在り方について理解を深める。これらの理解を基に、授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成し、模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付ける。</p>		
授 業 計 画	<p>※対面ではなく、オンデマンドに対応するかたちで実施する。各回の計画もオンデマンド化によって変更する可能性があるため、必ず初回のガイダンスで改めて確認すること。</p> <p>第1回:ガイダンスと授業への導入</p> <p>第2回:道徳教育及び道徳科における指導計画作成の要点</p> <p>第3回:道徳科の特質を生かした多様な指導方法</p> <p>第4回:道徳科における教材の特徴と授業への活かし方</p> <p>第5回:道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方</p> <p>第6回:道徳科における学習指導案の作成(1)</p> <p>第7回:道徳科における学習指導案の作成(2)</p> <p>第8回:指導案の振り返りと改善に向けた意見交換(1)</p> <p>第9回:指導案の振り返りと改善に向けた意見交換(2)</p> <p>第10回:総括</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>毎回の課題の取組状況と、道徳科の学習指導案の作成に基づき総合的に判断する。詳細はガイダンス時に説明する。</p>		
テ キ ス ト	<p>田中マリア編『道徳教育(MINERVA はじめて学ぶ教職⑫)』ミネルヴァ書房、2018 年。</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 特別の教科 道徳編』、2018 年。</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 特別の教科 道徳編』、2018 年。</p>		
参 考 文 献	<p>適宜、指示する。</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考	<p>対面ではなく、オンデマンドに対応するかたちで実施する。</p>		